

この世は生まれて死ぬまで

人間が修業する道場である

人間はなぐてはなからなこ入になら
なぐてはなぐてはなこよ

賢明な人生

環境を変えてくれたら助かるよ、環境が悪ければ
自分が悪くなったのも仕方ないというのは無責任な
弱虫である、環境の悪く苦しくても、天の名代と
考え、これを恩師として迎える心、鍛練たんれんしてもらう心、
それが賢明な人生を生み出す尊い生々方である。

幸せを掴む

相手とせめて心と固く閉ざしてはいけないよ、
皆自分に問題があるんだよ、
開くんだよ、それが幸せを掴むことになるんだよ

慈^じ悲^ひ寛^{かん}大^{だい}、自^じ己^こ反^{はん}省^{せい}

我が人生の師・常岡一郎先生より
長谷虎紡績工業(株)取締役会長故長谷虎治様お言葉

子供が育つための幸せな教育

弟一は お父さんとお母さんが仲のよいこと

弟二は お母さんが毎日張りのある生活としくしていること

弟三は どんな場合でも子供のプライドと傷つけない
いけないということ

「我が人生の師・常岡二郎先生より」

(株)ダスキニ取締役会長 故 駒井茂春様 お言葉

水の教え

水は低い所、低い所へと流れていくだろう、
丸い器に入れば丸く、四角い器に入れば四角になる、
水のような低く、やさしい、素直な心になりなさい

長生きする白ためにはね

神様から長生きをさせてやろうと

思われなすやだめだよ

心を磨く

フツに湯を入れる、湯香ユウカとがる、置かれる場所場所は卓上である
痰たんが入たら痰壺たんぼ部屋の隅に置かれる、
すべてのものは内容の良否で置き場所も待遇も変わる
人間の内容は心である、幸せを願うより自らの心を
磨くことが大切である

成功の道

人生には幾多の壁がある、どうにもならぬ壁に
打ち当たり、一步も前に進めない抵抗がある、

その抵抗によつてつづれるものと、反省、努力をつみ
重ね、抵抗をわけて成功の道を拓く者がある

自分に克かてなすものに勝利の栄冠は輝かない

良き運命

良き運命にめぐまれるためには正しく疲れる必要がある、気をもむだけで身体を動かさないと変な疲れ方をする、身体を使い、気になる事はすみやかに片づけることが肝心である。

人生の苦しみや悩みは人間が悟るために
天から与えられた賜たまひである

災難に出会った時、それを災難ととらえず

思おん寵ちゆう的試練と考える

「我が人生の師・常岡一郎先生」より
長谷虎紡績工業(株)取締役会長故長谷虎治様お言葉

人のためになろうとして自分を忘れると
もやもやとした気分がなくなると結局は
自分のためになるんだよ

心の中で相手を責める時は

自分がほほ笑みを矢う

常岡先生のいわれるようにやれば、この世にゆき

づまる会社は一つもないよ

「プロフィット」と「ゲイン」は二つとも「儲け」という意味ですが「プロフィット」は、お客様に喜ばれお役に立ち、そのご褒美として頂く利益、「ゲイン」は土地とか株で得る投機的利益経営姿勢のあり方として「プロフィット」を求めずとも「ゲイン」は求めない、この利益の哲学に基づいて経営を行えばゆきづまるといふことはありませぬ

我が人生の師・常岡一郎先生より

(株)ダスキニ取締役会長 故 駒井茂春様 お言葉

運命線は努力線

運命の強い人になるには、みずから
努力する以外にない

病気は自分の運命を強くするチャンスである

夏の日のカボチャ

夏の日のカボチャは物^{もの}凄^{すい}いほど伸びる、けれどまだカボチャの大木は見たことがない、千年の緑をたえて伸びる大樹杉、松は毎年少しづつ根が伸びただけ、か伸びない、僅^{ちひ}かの間で、アツという間に急激に伸びた、企業団体は巨木の伸びる姿では無くカボチャの伸びる姿に似ている。

高慢

他人を安く買ひて自分を高く売る高慢
な人は、やがて人生の下り坂である

不健康な運命

自分を守るゆとりもないほど人を守り国を守り
家を守る、そこに健康な運命が恵まれる、
巨万の富をつかみつつ出し惜む不健康な出し方
の人には、不健康な運命が釣り合ふ、
富みつつも泣く人の多い理由である、

心が大きいと相手を包むよがでるんだよ
いやな人を排斥はいせきするよとゆうのはね、
この世の真理にそむくよたなるんだよ

人生の達人

わけのわからぬことを言う人がある。聞いて不快になる。どんな理由であんなわけのわからぬことを言うのだらうと、考えしてみる。そしてわけのわからぬことを言ったわけがなるほどと、わけがくる。相手の立場までわかるわけのわからぬ人。これが人生の達人である。

自分を守る

自分を守る心の強い人がある、自分の都合
のよいことだけを計画する、

けれど常に運命が悪い思わぬ所に波紋が
出て、不思議に倒れていくようである、

いくら正一いよいよもかたよまた心はしけなうよ、

許す心、あわせやる心、これが肝心

病氣、災難

人間が鼻や耳を持つように、

自然に許されて持つ財産はいくら持つともよい
不釣合ふてあはに溜たまると危ない、徳分以上に入ると
溢あふれる、病氣、災難はその溢あふれる姿である

敏感と鈍感

人に皮肉を言われた時、非常に敏感な人がある、
けれど人から受けた恩、親切にはあまり敏感ではない、
これは冷たには敏感で、温かには鈍感な人である、
こんな人が人生を苦しく辛く渡るようである。

歡樂かんらくの尽つききるところに悲ひ哀あいあり

わがままの末すえに破綻はたんがままつてゐる

運命が悪くなたと思った時どうしたらよいか
悪い運命と不釣り合いな自分に自分を立て
直すこと、明るく感謝する心になることです

機嫌のいい心になるためには何事にも
一生懸命感心すること、感謝する
ことが大事です